

関東ふれあいの道埼玉県⑧秩父盆地を眺めるみち&⑦長瀨の自然と歴史を学ぶみち

日時：2019年6月9日（日） 天候：雨のち曇 歩数19000歩 歩行距離9.6km

集合：A班 新日本スポーツ連盟神奈川県連盟事務所前 6時45分

B班 京王井の頭線高井戸駅（出口北側）ミスタードーナツの前（環状八号線沿い） 7時30分

コース：⑧コース/札所前バス停→水潜寺→札立峠→破風山（626.5m）→猿岩→風戸入口バス停→車移動→

⑦コース/山形バス停→宝登山（497.1m）→宝登山神社奥宮→宝登山神社→長瀨駅

参加者：市村L 吉越SL 熊坂SL 勅使河原 渡辺ち 河野 清水 伊藤美 中村ゆ 桑名 井口 畠
高橋友 13人

運転手：笹館博さん（よこはま月例マラソン事務局長）

関東ふれあいの道埼玉県4回目は、⑧秩父盆地を眺めるみち&⑦長瀨の自然と歴史を学ぶみちです。レンタカーを使ったの移動で、お得な2コース踏破です。

気象庁が「7日午前に東海と関東甲信越、北陸、東北南部が梅雨入りしたとみられる」と発表した2日後の山行となりました。小雨降る中、低山とはいえ破風山と宝登山の2山山頂を踏破しました。宝登山山頂での達成感いっぱいの笑顔の写真です。健脚女子に囲まれた勅使河原さんの笑顔が何とも言えません。



関越道～皆野寄居道路～札所前バス停～水潜寺境内でストレッチ

小雨降るなか神奈川県連盟事務所前に参加者10人が集合。笹館さん運転のレンタカーは予定時刻18分前の6時42分に出発。第三京浜から環状八号線に入り7時30分丁度、高井戸駅前で3人の参加者を乗せて一路関越道へ。嵐山PAで小休憩、さらに車を進めて花園ICで関越道を下りて皆野寄居道路へ。雨です。

9時30分、札所前バス停に到着しました。町営バスの時刻表を見ると皆野駅からのバスが札所前バス停に止まるのは朝1番が9時09分、2番が10時49分、1日5便です。「秩父三四番目霊場」の大きな石柱の立っている水潜寺参道に入ります。破風山1.8km、札立峠1.4kmの標識がありました。

参道を少し上ったところで、清水さん指導による入念なストレッチで山行にそなえました。石灯籠が並ぶ階段を上がり、讚仏堂前の説明板には「秩父札所第三十四番日沢山水潜寺 秩父三十四霊場、日本百観音霊場（西国、坂東、秩父）の結願寺として打留めの札と笈摺を納めた寺」と書かれていました。（笈摺(おいずり)とは、巡礼などが着物の上に羽織る袖のない薄い衣）。「札所前バス停」の名前に納得でした。



水潜寺本堂前で「ポーズ」で出発集合写真～沢沿い上り道～札立峠

住職さんに「ハイ、ポーズ」で出発集合写真を撮っていただきました。気さくな住職さんで「写真は本堂を背景に撮りましょう」と言われて、13人勢ぞろいの写真になりました。

8時50分、住職さんに見送られてスタートです。階段を下りて山道へ、「クマ注意」の標識。沢沿いを上ります、丸太の二本橋を渡るなどして、沢の左岸右岸を行き来、浮石に注意しての上り道です。

何回か小休憩をして沢を離れ、10時38分に札立峠に着きました。「関東ふれあいの道」のシンボルマークの付いた説明板に「秩父札所の巡礼は笈摺を着、菅笠、手っ甲、脚絆を身につけ、草鞋をはいた姿で、1巡100km歩いて5泊6日の道程を各寺に札を打ち巡拝しました」と書かれていました。草鞋で山道を1日17キロ近く、6日間も歩いた昔の人の健脚に脱帽です。



札立峠～破風山（626.5m）雲の晴れ間から秩父盆地を眺望

札立峠で小休憩、山頂まではあと500mです。小さな観音様に癒されて出発、山頂直下の急峻な上り道を経て10時55分に標高626.5mの破風山山頂に。みなさん元気に続々と山頂到着です。石造りの祠と三等三角点を写真に収めました。

山頂は狭く立ち休憩、アレレこの写真だけですと「山ガール御一行様」ですね。かいた汗の水分補給、ほっと一息しているみなさんの視線の先は、秩父盆地と山並みです。このころ雨は止んでいて、雲の晴れ間からコース名の「秩父盆地を眺めるみち」を体感できました。



破風山から下山～東屋～猿岩を通り過ぎ～戻って踏破写真撮影

11時05分下山開始。東屋のところの標識は「猿岩まで0.3km」。快調に木段を下り関東ふれあいの道の標識を通過、次の標識は猿岩を通り過ぎていました。「どこで見過ごしたのか」と思いつつ、踏破撮影ポイントなので戻ることになりました。荷物を楽にしようとリュックを標識の上に「預けた人」は誰ですか～少し上ると急峻な木段の脇に入ったところに猿岩を発見。足場の悪いところなので、縦並びでの踏破写真撮影となりました。



猿岩～風戸地区～日野橋～風戸入口バス停～車移動～大神社前で昼食

猿岩から再び下山開始です。11時43分、分岐があり「風戸入口バス停へ約30分」の標識がありました。とは言えまだ急峻な下り道を慎重に下ります。ようやく登山道入口です。登山者数カウンターがあり「登山者数の調査を行っています。登るときに1人1回、カウンターのレバーを押してください。皆野町役場産業観光課」と書かれていました。私たちは水潜寺出発のときに押してきました。風戸地区に入り、花などを眺めながらアスファルト道をゆったり余裕歩きです。12時12分、⑧コースを踏破して風戸入口バス停に下りました。

レンタカーで移動、大神社前にあるグランド隅のベンチに横並びで座り、待望の昼食タイムとなりました。



大神社前～車移動～西光寺～「素敵な」登山道～宝登山(497.1m)

レンタカーで移動して山形バス停少し先の西光寺前で下車。13時丁度に⑦の「長瀬の自然と歴史を学ぶみち」スタートです。登山道入口の標識には、「宝登山まで1.7km、長瀬駅までは5.1km」と書かれています。

まずはなだらかな上り道です。最初の急峻な木段が出てきました。この木段を上りきるとゆるやかな下り道、吉越さんが「素敵な道ね」と一言。ところがさらに急峻な木段が待っていました。下からの写真ではさほどではないように見えますが、上からの写真では急峻さが分かるかと思います。さらにいくつかの木段と足場の悪い登山道を上りきると視界が広がって秩父盆地を一望できました。13時50分に宝登山山頂到着です。



宝登山～「芸術の森ね～」～宝登山神社奥宮～踏破写真撮影

宝登山山頂には不思議な木が何本もありました。「どうしてこのように絡み合っているの」「まるで芸術の森ね～」と感嘆の声が聞こえました。少し下って宝登山神社奥宮へ。説明板には「この地は、今から一九〇〇年の昔、第一二代景行天皇の息子日本武尊が、神霊を拝したところと伝えられます」と書かれています。踏破写真を撮影しました。この日参加の男性は3人、貴重な写真も1枚。参道の大鳥居を真下から撮ってみました。



宝登山神社奥宮～奥宮参道～宝登山神社～クールダウン～長瀬駅

14時丁度、長瀬駅まで標高差約300mの下山開始です。ゆるやかな九十九折りの奥宮参道を歩きます。2山踏破してあとは下りのみ、「今日はがんばったわね」「雨もまた楽しいね」などと会話が弾んでいるのでしょうか、軽やかな足どりで。アレレこの人は花の写真撮影に夢中です。

「関東ふれあいの道」のシンボルマークの付いた石柱、道の字が土で半分埋っています。どなたかに教えていただいた紫の色が鮮やかなホタルブクロの花をカメラに収めました。

40分程下るとロープウェイ入口の看板がありました。宝登山山頂までの所要時間は5分です。少し歩くと鳥居が見えてきました。奥が宝登山神社ですが、奥宮で参拝しましたのでパスさせていただきました。

参道脇でがんばった体をクールダウンです。広い道幅の宝登山神社参道を下ります。かき氷屋さんがたくさんあります。清水さんは、1袋100円の山椒の実を買い占め？残りは1袋ですよ～ 国道140号線の所の大鳥居を過ぎると長瀬駅前です。間口の広いお土産屋や射的場など、昔懐かしい観光地の街並みです。



⑧秩父盆地を眺めるみち&⑦長瀨の自然と歴史を学ぶみち踏破

15時10分、長瀨駅へ着きました。駅前では長瀨ライン下り発券所があり、先生に付き添われた小学生が乗船所までの送迎バスを待っていました。木板に味わいのある書体の「長瀨驛」、驛舎前で集合写真です。

札所前バス停を9時30分にスタートしてから5時間40分の行動時間。⑧秩父盆地を眺めるみち&⑦長瀨の自然と歴史を学ぶみちを踏破して歩数は1万9000歩。午後はほぼ雨あがり安全に楽しく山行できました。

みなさん、駅前のお土産屋で手作り蒟蒻やお饅頭などを購入して横浜への帰路となりました。関越道を走行しているときは雨土砂降り。19時少し前に神奈川連盟事務所前に着きました。(いちむら記)

